



フードバンク提供促進の 先進的な取組

持続可能なフードバンクへの商品提供への仕組み
株式会社ハローズ

1. 会社概要

株式会社	ハローズ
代表者	代表取締役社長 佐藤 利行
本社	〒721-0973 広島県福山市蔵王町6丁目26番7号
設立	昭和33年10月
資本金	3,114 百万円
証券コード	2742 (東京証券取引所市場第一部)
店舗数	80店舗 24時間営業 (広島・岡山・兵庫・愛媛・香川・徳島)

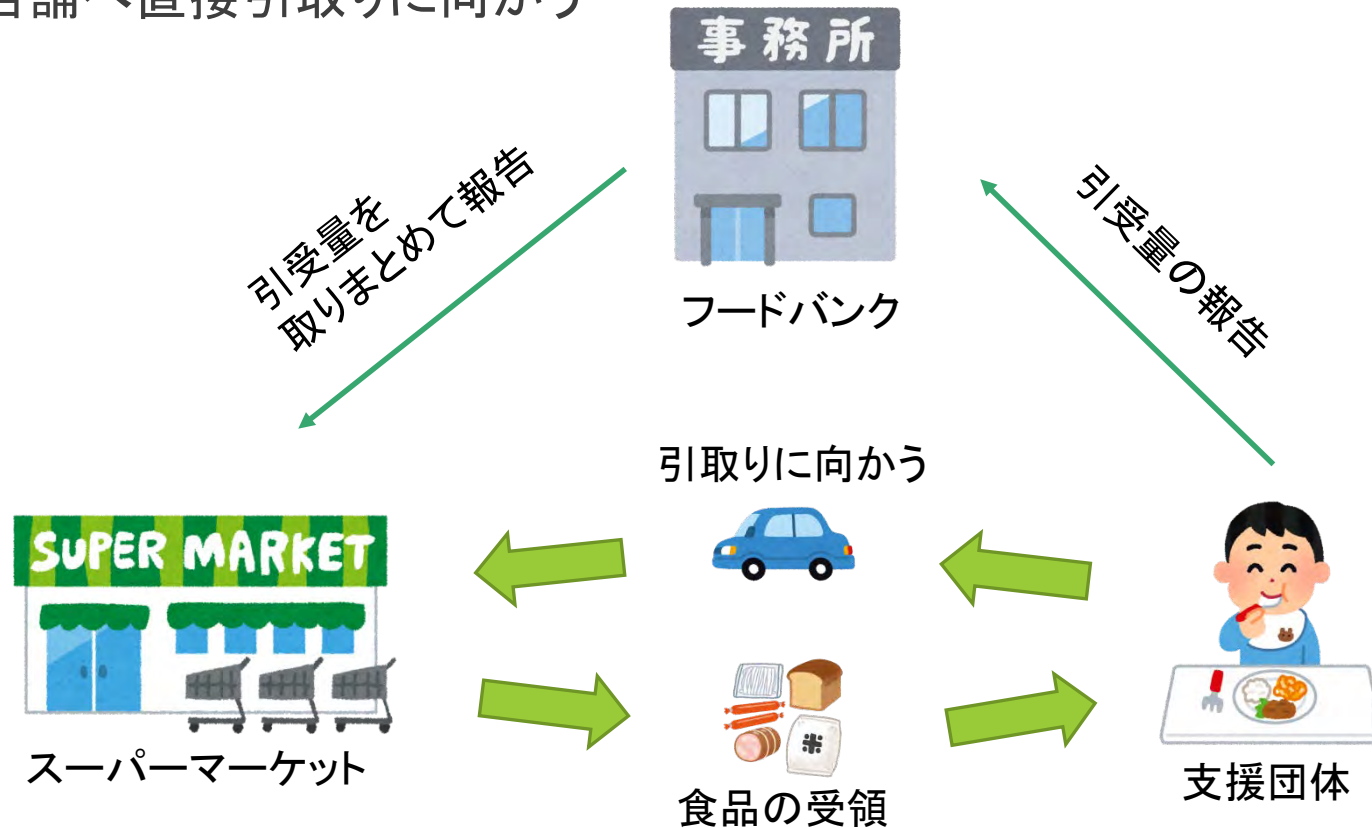
2018年2月期決算

営業収益	121,359	百万円
経常利益	4,897	百万円
純利益	3,400	百万円



2. ハローズモデル

- フードバンクと契約を締結した子ども食堂等の支援団体が、近隣の店舗へ直接引取りに向かう



ハローズ広江店にて
フードバンクアリス 稲見代表(右)

3.地域での取り組み

岡山県の同業スーパーの提供促進

天満屋ストア・山陽マルナカ・仁科百貨店・両備ストア・マルイ等

80%近いスーパーで提供

ドラッグストアにも協力を要請



10店



102店



80店



47店



60店



1店



7店



1店

数字:提供中店舗(予定も含む)

4. 提供商品

- ① 廃棄伝票起票済みで消費期限が残っている商品
- ② メーカーベタ付け景品の余り
- ③ トリミングもしくは加工すれば食べるのに差支えない青果
- ④ 精肉加工品
- ⑤ 月間5トン提供



提供商品の一例
(フードバンクアリス)

5.提供団体

- ① フードバンク ハローズ出店エリア全体で 11団体
- ② 子ども食堂 約30団体
- ③ 障害者就労支援施設 A型・B型 5団体
- ④ 社会福祉協議会（赤磐市、岡山市、尾道市...）
- ⑤ その他支援を必要とする団体
岡山市 ホームレス支援きずな
倉敷市生活自立相談支援センター 等



6. ボランティア団体の輸送経費・時間削減

- ① 店舗近隣の施設の直接引取りにより輸送費・時間 大幅に節約
- ② 施設従業員の通勤経路での引取り
- ③ 年間でガソリン代 22万円 延べ1500時間削減
愛媛県内のハローズの例、7店舗より3団体が引取り
- ④ 引取りに係る労務費 年間109万円削減



7. 全国のスーパーへの波及

- 日本スーパーマーケット協会を通じて各スーパーへの協力要請
- その他セミナー時にもお願い
- GMS・SM・ドラッグストア各社



(順不同)

8.地球温暖化防止・省エネルギー効果

●直接引取によるCO₂削減効果 76トン

ハローズモデルによるFBの経費削減効果

No.	店名	受取協力団体	FB団体の経費削減効果						CO ₂ 削減量・ 環境負荷削減値		
			往復距離 (km/回) ①	作業時間 (時間/回) ②	燃料費 ¹⁾ (円/回) ③	労務費 ²⁾ (円/回) ④	計 (円/回) ③+④=⑤	回/月 ⑤	年/円 ④×⑤×12ヶ月	年/kg ³⁾ ⑥	円/年 ⁴⁾
1	今治店	子ども食堂	62.8	3.0	436	2,250	2,686	20	644,667	2,185.4	17,484
2	中寺店	子ども食堂	62.8	3.0	436	2,250	2,686	20	644,667	2,185.4	17,484
3	西条飯岡店	えひめフードバンク愛顔	0.0	0.0	0	0	0	1	0	0.0	0
4	新居浜郷店	えひめフードバンク愛顔	0.0	0.0	0	0	0	1	0	0.0	0
5	土居店	支援団体	38.8	2.0	269	1,500	1,769	1	21,233	67.5	540
6	三島店	支援団体	57.0	2.0	396	1,500	1,896	1	22,750	99.2	793
7	川之江店	支援団体	61.0	3.0	424	2,250	2,674	1	32,083	106.1	849
合 計									1,365,400	4,643.7	37,150

9. マスコミ記事掲載による波及効果

● マスコミ記事掲載により 支援企業の増加



2017年12月31日 山陽新聞

子ども食堂へ食品を寄付するスーパーのフードバンク 1店舗月10～15万円の廃棄コストと食品ロス削減

井出留美 | 食品ロス問題専門家・ジャーナリスト・博士 (栄養学)
4/5(木) 9:06

ツイート シェア B!ブックマーク



ハローズの太田光一商品管理室長（左）と津高店の萬田萬史副店長（右）（筆者撮影）

地域の子どもたちに無料もしくは安価に食事を提供する子ども食堂が全国2286ヶ所あると、「こども食堂安心・安全向上委員会」が2018年4月3日、東京都内で発表した。この、子ども食堂へ積極的に食品を提供しているスーパーマーケットがある。岡山県早島町に本部を置く、株式会社ハローズだ。ハローズの太田光一商品管理室長と各店舗の店長・副店長、提供先の施設に取材した。

2018年4月5日 Yahoo!ニュース



2018年9月8日 徳島新聞

10. 食品リサイクル数値改善

● 廃棄削減の意識向上で廃棄物削減

平成30年度(平成29年度実績)食品リサイクル法に基づく定期報告書アンケート集計

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	目標値
1店舗あたりの食品廃棄物発生量(トン)	50.19	49.04	49.97	51.96	49.03	-
発生原単位(kg/百万円)	35.8	34.0	33.5	33.1	29.6	~65.6
発生源単位前年比	93.06%	94.91%	98.48%	98.78%	89.51%	
1店舗あたりの再生実施量(トン)	22.31	22.29	21.20	22.24	22.11	
再生率	47.30%	50.97%	50.88%	54.59%	61.38%	45%(~26) 55%(27~)
基準実施率(%)	48.3	50.0	51.7	53.3	54.9	

2 株式会社ハローズ	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	目標値
食品廃棄物(トン)	5,268.5	6,013.4	5,712.4	7,042.8	4,609.4	
1店舗あたりの廃棄量(トン)	86.4	94.0	87.2	81.3	73.2	
発生原単位(kg/百万円)	59.9	64.6	53.9	61.4	38.0	~65.6
発生源単位前年度比(%)	—	107.87%	83.37%	113.86%	61.89%	
発生抑制実施量(トン)	0.0	0.0	0.0	0.0	1399.1	
食品循環資源再生利用量(トン)	569.6	423.0	915.0	1353.1	2369.7	
1店舗あたりの再生実施量(トン)	9.3	6.6	13.3	18.3	30.4	
再生率(%)	10.81%	7.03%	16.02%	19.21%	62.72%	55%~
基準実施率(%)	32.0	34.0	36.0	38.0	40.0	

上段: 全国スーパー平均
下段: ハローズ実績

平成29年度再生率
全国平均: 61.38%
ハローズ: 62.72%

全国平均を上回る再生率を達成